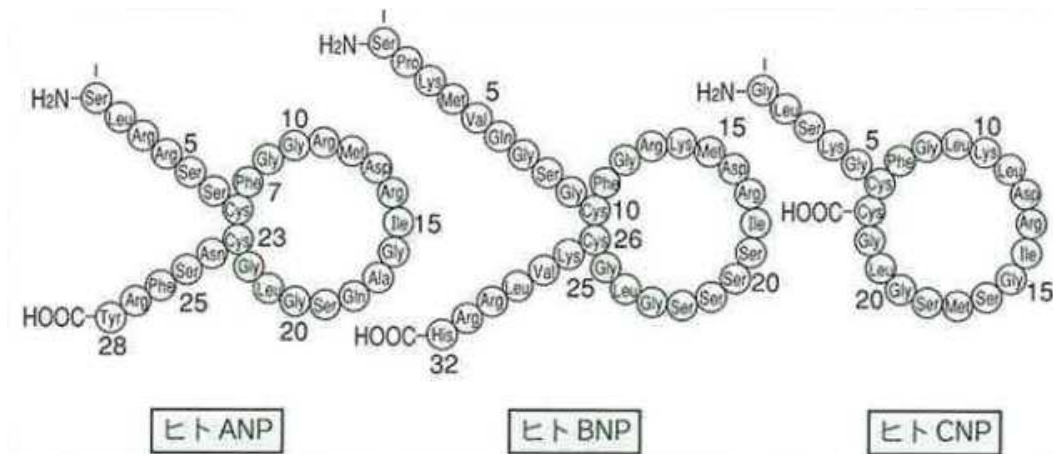


BNP (Brain Natriuretic Peptide)

ヒト脳性ナトリウム利尿ペプチドキット

BNPは、心臓（特に心室）において合成、分泌されるアミノ酸32個からなる分子量約3,500のペプチドホルモンです。ナトリウム利尿ペプチドファミリー（下図）としては他にANP(脳性ナトリウム利尿ペプチド)、CNP(Cタイプナトリウム利尿ペプチド)があり、いずれもアミノ酸17個の環状構造を分子内に有しています。BNPにはANPとともに利尿作用、ナトリウム利尿作用、血圧降下作用、アルドステロン分泌抑制作用等があり、心臓に対する負荷を低減させる働きがあります。心不全状態になり、心負荷がかかると心臓は負荷低減のため自らBNPを産生・分泌するので、血中BNP濃度は無症候の時期を含め心不全の重症度と良い相関を示します。更にBNPは血中半減期も短く、BNP濃度は”その時”の心臓の状態を鋭敏に反映することから、心疾患の治療ガイドとしても有用です。BNPは他臓器、器官では殆ど生合成されないことに加え、他の心筋マーカーと異なり能動的なホルモンであることから、心機能低下に対し非常に高い特異性を有しています。



仕様

試薬構成

免疫反応試薬	Eテスト「TOSOH」II (BNP)	(100テスト/箱)
標準品	Eテスト「TOSOH」II (BNP) 標準品セット	(6濃度、各2本/箱)
検体希釈液	Eテスト「TOSOH」II (BNP) 検体希釈液	(4mL x 4本/箱)
対象検体種	EDTA血漿	
測定時間	免疫反応時間 10分 (1ステップサンドイッチ法)	結果報告 約20分
測定範囲	4 ~ 2,000 pg/mL	
健常人参考値	< 18.4 pg/mL ¹⁾	

1) 泰江 他、ホルモンと臨床, 41, 397-403 (1993)